

大分の味力溢れる農産物を

県議会議員三年目の活動報告

おおいたけんちゃん新聞

夏季特別号 大分県版

蒸し暑い季節になってきました。みなさまには何卒、カラダに気をつけて、これからくる夏を楽しみながら、過ごしていただくと幸いです。
■農作物の生産振興について その1
産業における重要な経済資源は「ひと、もの、かね」と言われています。商品・産品(もの)をいかに効率的に消費者まで届けるかという視点、つまり物流の問題です。先ほど、物流の2024年問題に少し触れましたが、トラックドライバー等の時間外労働に対する規制が開始されました。ドライバーの皆さんの負担の大きさを鑑みると、問題視ばかりするのはいかがかと思えますが、産業において、物流コストの問題等が発生すること、県経済の停滞を招くことがあってはなりません。やはり、県政における喫緊の課題であると思えます。特に、農産物輸送については、従来から輸送の効率化の必要性が議論されてきました。また、本県はこれまで県外に向けた農産物の販売先として、関西方面を重点ターゲットとして取り組み、「ベリーツ」が京都市場で一定の地位を確立するなどの成果も見えつつある中で、物流コスト増がその足かせにならないような取り組みも必要です。こうしたことを踏まえ、輸送の効率化にどのように取り組むのか、農林水産部長にお伺いします。

教育に切り込む。次ページに続く

【答弁・農林水産部長】
本県にとって重要なマーケットである関西方面の市場を中心に、2024年問題を見据えた物流の効率化について、農業総合戦略会議等で検討を重ねてきました。まずは、県域での出荷体制を強化するため、産地での広域的な出荷施設等の設備の整備、加えて、短期集中県域支援品目の増産が進む中で、従来の3倍規模の流通拠点となる大分青果センターが昨年5月に稼働を始めました。これにより、出荷量の拡大による積載率向上と、トラック搬出口増設による運転手の待ち時間の解消が実現可能になりました。市場関係者からは正確な出荷量が素早く把握でき、県産品の取引拡大につながるという評価を受けており、本県の期待も高まっています。一方、輸送パレットの全国標準化やトラック輸送のコスト上昇など、懸念材料もまだまだあります。本県の強みである船便へのモーダルシフト等の活用も視野に、国の動向も注視しつつ、輸送効率化と市場での地位確保に取り組んでいきます。
■農作物の生産振興について その2
農林水産の生産拡大にあたっては、先ほどの輸送の問題に加え、当然のことではあります。市場や消費者のニーズを的確に捉えることも併せて重要な要素です。「食」という大きな視点で見れば、高齢化や核家族の増加に伴う1世帯当たり人員の減少に伴い、特に中食の利用が増えているようです。こうした手軽さを求める消費者のニーズは今後も強くなると考えられることから、農産物においては、加工・業務用の需要がますます高まっていくと考

※これは新聞ではありません。

首 新たな都町を作るか。なんとかこの結びつき、食事とその後をスムーズに行けるようなエリアを1個作った方がいいような。その辺の回遊を、なんちゅうかな、新たにどんと作った方がいいんじゃないかな、と。
松 そのままで俺、飲食詳しくねえけん、具体的にどうしたらいいのちゅうの案はねんやけど、なんとなく。
首 そうよな(笑)。街中が広くて、間延びしているみたいな感じやもんな。賑わっている印象は出るよな。あとは、単純に街の魅力よな。
松 そうなんよ。僕はもう、とにかく駅前に、アリーナと空港を作りたいたいよ。サッカーにしても、遠いし、空港なんかアクセス悪いし。それぞれがそれぞれの正義でバラバラ作って行った結果、チグハグになっているから、なんかある一定のコンセプトのもと、街づくりをしたいよ。サッカーの試合で例えると、アリーナが街中にできると車で行く必要ないし、豊富な公共交通機関で行ける。すると、お酒が飲めるし、試合後の飲食需要も高まるよな。お祭りや連動させてもいいやろ。
首 府内城跡とか良いと思わん? お堀は残して、近代的なドームがあそこに建設されるついで。
松 それ、いいな(笑)。若い子たちもう選挙に興味持たそうなの。もつともつと活性化してもらいたいよ。
松 空港近いと便利よな。
首 そう。売れっ子ほどコンサートで大分に入れてくれないわけ。例えば、ロケでもそうやけど、空港に迎え行くでしょ。タレントさんとかあるいはマネージャーとやり取りするときに、空港からの現地までどのぐらいですか?と聞かれるんよ。だから、1日2本仕事ができたりするのが、大分だと1泊しなきゃいけないから、売れっ子がツアーに入れてくれない。いろんな弊害が出てきているんよな。そりゃ都会に流出するわ、と。
首 そういう体験を大分でももらいたいよな。あれもすごい頑張っているよな、50メートルプールの建設の署名活動!

松 首 ほかになんかない? こうして欲しいとか! いやいや、もうお腹いっぱいやわ(笑)。もう今の50メートルプール構想とか、スタジアム城址公園後計画とか。話だけじゃくて、1個でも2個でも。なんか実現して欲しいと思います。だから、やっぱりけんさんが選挙に落ちちゃいかんそうぞうすね(笑)。
首 このまま終わる気はさらさら無いらね。野望もあるし。でも、やっぱりコミュニケーション。やりたから!と言つても、できないちゅうのが、この政治の世界ついうかね。やっぱりけんさんと皆さんから認められないとできない。
松 首 だから、政治家って、「選挙 選挙」ってなるわけよ。だけど、本当はちゃんと仕事をね、自分のやりたいことを実現する方向に行かんといけん。ずつとジレンマ。
松 首 そうやな、やっぱり原点に戻って、「君のハートにナイトイン」をYouTubeで復活させましょう。絶対観る。活動報告をSNSで行うのもトレンドやけんな、絶対にやろ(笑)。若い人観るかな(笑)。
松 首 18歳から選挙権あるけんな。まずは知ってもらおう事が大事なんやない?
松 首 そうやな(笑)。やつてみましょう!
松 首 リクエスト企画を募集してよ。けんちゃんの二人羽織、最高やけんな(笑)。
松 首 若手芸人くらい、声と体を張って、やつてみよう(笑)。楽しんでおきます(笑)。



※1 89年よりスタートした首藤健二郎がメインパーソナリティーを務めたOBSラジオ「君のハートにナイトイン」の略
※2 01年よりスタートした大分県の広報番組「おおいた捕物帳」

大分県から発信する。



大分県議会議員 首藤 健二郎(しゅとう けんじろう)
〒870-0263 大分県大分市横田2丁目12-14
☎ 097-592-3368

大分県から元気になる。

「こどもたちが学び、育つための重要な役割を果たしています。こうした中、近年、不登校の児童生徒が増えているというニュースをよく耳にします。個人的には、近年の少子化傾向によりこどもたちに目が行き届きすぎて、窮屈な学校生活になっている面もあるのではないかと思います。この4月から、玖珠町において、学びの多様な学校が開校しました。未来の学校を作るこの学校は、柔軟なカリキュラム設定に加え、校則も制服もなく、オンラインでの登校や途中下校もできるなど従来の学校とは全く異なる運営がなされます。そのコンセプトは「みんなが主役の学校」であり、関係者の皆さんはその実践のため、挑戦を重ねているようです。この学校は不登校特別校という点で、特別な制度に基づくものではなく、本来、「生徒が主役」というのは、本来、どの学校においても大切にすべき考え方だと思います。不合理的な校則などがある学校は、生徒ではなく、別な誰かが主役になっているのではないかとその思いを禁じ得ません。もちろん、社会性を身につけるうえで、一定のルールに基づく指導は必要かもしれませんが、校則を予め設けていない学びの多様な学校で多くの生徒がその可能性を開花させていったとき、果たして既存の校則とは何の意味があるのかをもう一度考える必要も出てくると思います。こうしたことを踏まえ、不登校児童への支援にどのように取り組んでいくのか教育長にお伺いします。

体制の充実・強化に努めてきました。さらに今年度は、不登校等の予兆を早期に察知するため、一人一台端末を活用した心の健康観察システムを、全ての県立高校と一部の小・中学校に試験的に導入していきます。次に、登校はできずとも教室に入ることができない児童生徒には、校内教育支援ルームを設け、48中学校に配置した登校支援員が学習サポートや相談支援を行い、昨年度は156件の教室復帰に繋がっております。また、県内6か所に補充学習教室を開設するとともに、自宅でも学習できるよう、ICT教材を活用した学習支援にも取り組んでおります。なお、校則については、各学校で生徒会を交えて不合理なものを見直しを行っており、かなり是正が進んでおります。玖珠町の取組等も参考に今後も課題に取り組んでいきます。

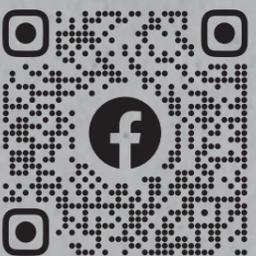
【質問】
教育を巡る諸課題について その2
失われた30年とも呼ばれる長い停滞が続いた日本経済ですが、日経平均株価は今年に入り、バブル期以降の最高値を更新しました。また、日銀が3月に公表した資金循環統計では、2023年末の家計の金融資産残高が前年末約5%増の2141兆円となり、こちらも過去最高を更新しています。株高で株や投資信託が残高を押し上げたことが要因となっているそうです。一方で、全国の消費生活センター等に寄せられた相談をみると、暗号資産・仮想通貨の投資などといった「ファンド型投資資産」や、簡単に稼げる副業サイトなど儲け話に関するトラブルが、20歳代を中心に多く寄せられているそうです。またコロナ禍において外出を控え、自宅過ごす時間が長くなったことにより、スマ

ートフォン・タブレットや家庭用ゲーム機のオンラインゲームを利用して過ごす中で、子どもが保護者の許可なく課金してしまったというトラブルが急増しているとも聞きます。情報にあふれ、また気軽に接することができるようになる正しい知識を早いうちから習得することが求められていると考えます。我々世代は、学生時代に授業などでお金に関して勉強する機会が少なかつたように思いますが、時代が変わっている今の子どもたちには、学校と連携しながら小さいうちから金融やそれに関係するトラブルなどについて段階的に学ぶ機会を作っていくことも大切だと考えます。こうしたことを踏まえ、学校現場と連携しながら、児童生徒も含んだ若者への金融・消費者教育にどのように取り組んでいくのか生活環境部長に伺います。

【答弁・生活環境部長】
若者の消費者トラブルを防ぐには、小学生から社会人までライフステージに応じた金融・消費者教育が重要だと考えています。学校教育では、小中学生には売買契約の基礎や計画的な金銭管理、高校生には消費者保護の仕組みや経済社会における金融の意義や役割など、学習指導要領に基づき発達段階に応じた授業を行っています。相談員が講師となり、生活に根差した内容の出前講座も実施している。この講座の充実を図るため、小中学生向けには今年度新たに、ゲーム課金など身近なトラブルを学べるアニメ動画の教材を制作します。また、高校生に対しても、成年年齢引き下げに伴い重点的に啓発を行うっており、令和4年度から3年間で全高校を訪問中。クレジットカードの注重点や定期購入にまつわるトラブル等を実例に即した内容で理解を促して

大分の魅力や私の活動を更新中！
ぜひ、フォローをお願いします！

facebook



Instagram



LINE



以上一般質問と答弁でした。これからも大分県のために任が抜き、積極的に関与を行っていきます。これからもよろしくお願ひ致します。

次回！けんちゃん YOUTUBE を始める？お楽しみに

けんちゃんこの部屋

大分に生きる、様々な方々と対談する企画。二回目のゲストは、ワインを通して、様々な方々と対話をしてきたソムリエ・松野浩さん。大分市都町「シャンブル・ア・スリール」でランチとワインを振る舞うソムリエと県議会議員の貴重な対談。ぜひ、お楽しみください。

松 「けんちゃんの部屋」の二回目の対談、読みましたよ。彼は政治家を目指しているんですか？
首 政治家うちゅうか、いざればね、目指すんやろうけど。でも医学部やからね、いろんな道を考えよんのやないかな。ただ、勉強、政治の勉強も今したいちゅうて。
松 それこそ、ケンさんについてまわるのがいんじゃないんですか。近道的に。
首 それはちょっと違う勉強になるかもしれないん(笑)。最近の政治について、少し話を聞いてみたいんやけど。
松 いきなりそこから(笑)。兵庫県知事のお話また続いているけど、あれはなんかすごいよな。
首 今度一般質問でもするんだけど、要は、コミュニケーション能力がなかったんじゃないかと。県議会なり、あるいはその組織のね、県庁職員等とちゃんとコミュニケーションができていけば、あんなことには絶対ならん。でも、そういう点においては、あの人の方がやったことは、本当はいいことなんかもしれないよな。



<プロフィール>
松野 浩さん
大分市都町
シャンブル・ア・スリール
オーナー・ソムリエ

松 でも、県職員からしてみたら、「いやいやちよつと待ってよ」ってなるのも分かるよな。天下り先とか財政とか、改革という名の裏で、今まで築いたものがバツリ切られるのは正直キツイやろうな。
首 そうそう。当然、そういう気持ちは沸くよね。だから攻撃したっていう背景は否めんやろうな。ただ、無表情過ぎるのも良くないわな(笑)。もつと感情的に少し話題を変えましょう(笑)。
松 えー、松野さんとの出会いについてやつたかな？
首 それ、俺も覚えちよらんよ。竹田が長湯温泉か。仲良くなったのは内川選手(元・プロ野球選手)の後援会からだよね。そこから忘年会で、沢田研二を歌ってくれたり。豊後のスーパースターをまじまじと見せつけられましたね。
松 いやいやいや(笑)。懐かしいですね。
首 けんちゃんを知ったきっかけは「ハーナイ」よ、あの伝説のラジオ！
松 いやー、懐かしい(笑)。ありがとうございます！あれが、89年からスタートしたから、もう35年前か。あれ、リスナーは「ハーナイ」って呼んでいて、我々スタッフは、「ナイトイン」って呼んでたんやけどな。いやでも、あのおかけうちゅうか、今でも「聞いてました」って言われるけんな。がむしゃらに「生懸命やつて良かった。あと、「捕物帳」よな。あれはどんくらくらいつて？あれはね、16年やらしてもらったんよ。どこの県も広報番組担当者は一年間がほとんど。それを16年も。ありがたいですよ、本当に。
首 竹田市議は二期やったんかな？
松 そうそう、二期の途中で辞めたんやけどな。そこから県政に挑戦することになった。
首 やっぱり市政は大変だった？
松 大変だったな(笑)。なかなか進まない印象だったね。議論つちゅう議論があんまりできなかつたから。だから県に興味が出てきたし、思いや経験を活かせると思って。当時からいいアイデアもあつたけんな。
首 これからが楽しみだし、それは期待しようかな(笑)。
松 けんさんはワインは好きなん？
首 いや、それがね。ワインね、それまで、飲むのは、ちよつと成功した社長から、結構、奮ってもらつたりとかで、飲んでたんだけど、あんまりこうピンときてなくて、なんか種類もなんも、わからなくて、そげええええの、

松 なんてみんな飲むかなくて、ずっと思いつて。でも、東京の赤坂で友だちに「これは飲んでみて」ってワインを紹介してもらつて。そのワインがめちゃくちゃ美味しかったんよ。
首 へー、なんてワインだった？
松 名前やろ、全然覚えてなくて(笑)。10年くらい前やもんな。でも、美味しいワインってあるんや、しかもそんなに高くないんだって、印象がガラリと変わったね。なんか価値観が変わる瞬間というか。
松 そんなに！興味ありますね(笑)。沢田研二がデビューした時くらいに衝撃？
首 そうそう、沢田研二は今でも歌詞覚えてちよんけんな。松野さんは、飲食を始めてからどれくらい経つん？
松 もう30年くらいになるんかな。東京から大分に帰ってきたのが、24歳の時に帰ってきたけんな。たいたい、帰ってくるのってこのくらいの歳よな(笑)。
首 そうそう、俺も25歳くらいやつたけん(笑)。そつからずつと大分なん？
松 そうやな(笑)。若い時は、バイトしながら、飲食にがむしゃらに励んでたね。こういう類の話で「昔はああた」とか、あんまり話をするべきじゃないなと思うんやけど、二点伝えたいというか。ただ、ただ悲しいのが、俺が好きやつた30年とか50年とか続けていた老舗が、もうここ5年くらいでポツポツと閉店していきよんこと。とにかく悲しい。
首 やっぱりコロナだよね、飲食店さんは。
松 そうそう、しょうがない部分は否めないけど、変わらないうちに変わるように文化は残していきたいよね。ずつと街中を見てきた松野さんから見て、「こうしたら、もつと盛り上がる」みたいな意見ありますか？
首 いやいや、なんか考えてよ、けんさんが(笑)。
松 当たり前やないの(笑)。僕は正直言つてね、都町と中央町、府内町が離れすぎちゃつて。なんか大きな道路で分断されているというか。やっぱり食事とその後で近いうちがいいと思うんよな。なんか日本で、いろいろ見ても、やっぱ食事してすぐ飲みに行けるみたいなのがいい。道路がね、本当に大きいと思うよ。今こそ大改革で、どんと作つた方がいいと思う。

次ページ、後半へ続く

※これは新聞ではありません。